

# ワンタッチペン 操作手順書

ご使用前に、ワンタッチペンおよびワンタッチペンランセットの添付文書をよくお読みください。



## ① 深さを調整します



深度調整ダイヤルを回して、穿刺深度を調整します。

深度 0, 1	より浅い穿刺
深度 2, 3	標準的な穿刺
深度 4, 5	より深い穿刺

## ② 穿刺針を取り付けます



保護キャップを持って穿刺針を穿刺器具にカチッと音がするまで、奥までしっかり押し込んでください。



取り付けが完了すると、確認窓が黄色●になります。

## ③ 保護キャップを取りはずします



保護キャップをねじって取りはずしてください。(穿刺針が正しく装着されていないと保護キャップはねじれません)

## ④ 穿刺します



穿刺針ケースの先端を穿刺部位にしっかりと押し当てたまま、穿刺ボタン(黄色)を押してください。(一度穿刺ボタンを押すと再穿刺できません。)

## ⑤ 後片付け



穿刺針がはずれるまで青色の取りはずしボタンを押しきって下さい。



穿刺針を手で引き抜めくと、故障の原因になります。

# ワンタッチペン 困ったときのQ&A

## Q.血液が上手く確保できない

- A. 穿刺時に皮膚から穿刺器具の先端が離れている可能性があります。  
穿刺部位に先端をしっかりと押し当てたまま、穿刺ボタンを押して下さい。  
手が震える方は机などに指や前腕を固定しながら穿刺すると安定します。



また、穿刺器具の穿刺深度が適切でない場合も考えられます。  
推奨深度はあくまで目安ですので、深度調整ダイヤルを回して穿刺深度を調整してみてください。

## Q.穿刺針の保護キャップがはずれない

- A. 確認窓が完全に黄色になっているか確認して下さい。  
完全に黄色で埋まっていない場合は、取り付けが完了しておりません。  
「カチッ」と音がするまで、穿刺針を穿刺器具に奥までしっかりと押し込んで下さい。  
正しく穿刺針が装着されている場合は、保護キャップが浮き上がり、キャップが回せる状態になります。

確認窓が完全に  
黄色で埋まっていない例



## Q.穿刺しようとしても穿刺ボタンが押せない

- A. 一度穿刺ボタンを押した可能性があります。一度穿刺すると再穿刺できませんので、誤まって穿刺ボタンを押さないようにご注意ください。  
また、穿刺ボタンは黄色いボタンです。青色の取りはずしボタンと間違えていないか確認して下さい。

## Q.穿刺針が穿刺器具からはずれない

- A. 取りはずしボタンを最後まで押しきっているか確認して下さい。  
また、穿刺針を手で引き抜くと故障の原因になります。

穿刺ボタン

取りはずしボタン

